　　　　チューリップの育て方

≪栽培条件≫

日当たりの良く風通しの良い場所で育てるのが最適。家の中だとベランダなど。

土は水はけがよく、弱酸性のものが好ましいが市販で売っているものだったらOK

≪栽培計画≫

①鉢、土、球根等を受け取る。

②土を鉢の中に入れ球根を植える。その際浅植えにし、とがったほうを上にする。

　たくさん植える場合は植えるときの向きに注意！球根にはふっくらした面と平た

い面があり、向きをそろえて植えると葉が出てきたときに向きがきれいにそろ

　う。特に鉢植えの場合、球根の向きがバラバラだと葉がぶつかり合って生育的に

　も問題が出たり風通しが悪くなったりする。

③ベランダのサッシに鉢を設置する。

④水やり。（乾くたびにやる）

⑤花が咲いたらかれるまで飾っておき水やりはする。

⑥咲き終わったら（チューリップの花の咲き終わりは花弁が開きっぱなしになりし

　わしわになるのが特徴）球根に栄養をいきわたらせるために花茎の上部を摘み取

　る。花茎と葉は光合成に必要なため摘まなくてよい。

⑦５月後半～６月半ばの晴れた日に掘り上げる。掘り上げた球根は風通しの良い場

　所で保管して秋にまた植え付ける。

≪動物被害対策≫

チューリップの被害はネズミが多い。

対策１彼岸花を植える

　　２水仙の球根（有毒）を植える

　　３ハッカやミントを植える（香りが苦手）

　　４石灰窒素をまく（弱アルカリ性）

　　５ワイヤーネットでカバー

≪冷凍保存≫

チューリップは冬の寒さにあてることによって花芽ができる。そのあとに開花するのである。

だから、冷蔵庫で保存をしておくとわざわざ外で育てなくても暖かい日当足りがよく風通しの良いところで育てるだけで開花することができる。つまり家の中でも栽培できるようになるのである。